

## ～卸売業者による地魚を活用した加工販売体制の構築～ 宇部魚市場株式会社（山口県宇部市）

### 目詰まりの現状

山口県宇部市では、瀬戸内海西部の周防灘を漁場とした小型底引き網など沿岸漁業が行われているが、漁業者や資源の減少等により、漁獲量は10年前に比べ半減している。また、漁獲された水産物が上場される宇部市地方卸売市場では買受人が減少傾向にあり、市場としての機能が低下、特に大量水揚げ時には買い手が少なく安価に取引されている。

そこで、卸売業者自ら上場された鮮魚の一部を加工しスーパー等に販売する業務を始めたが、手作業中心であり処理量は限られ、高コストとなっていた。

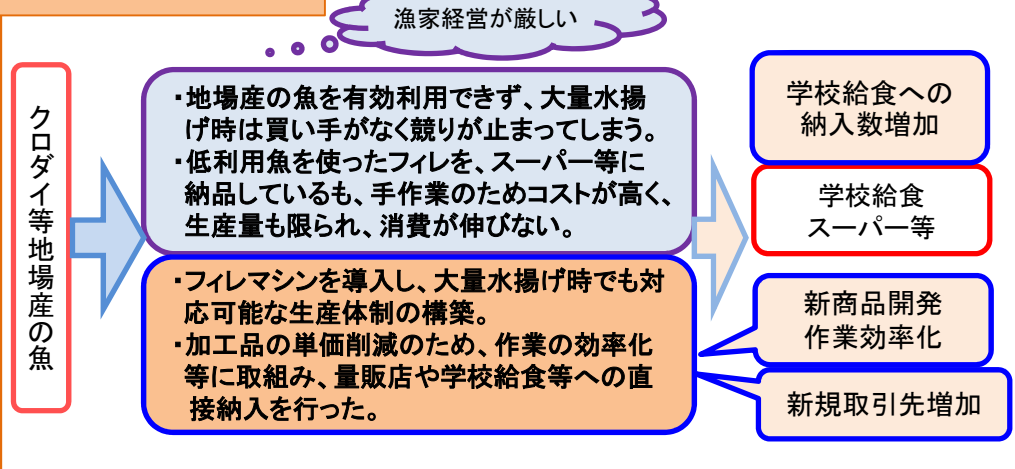
### プロジェクトの概要

- ・ フィレマシンを導入し、開き、中骨取り、腹骨取り工程の効率化を図り、大量水揚げ時にも対応可能な生産体制の構築を図った。
- ・ 特定の時期に安価に取引されるクロダイ、ハモ等を原料とした加工品を開発し、量販店・卸売会社等を中心に新規販路の開拓に取組んだ。
- ・ 学校給食向けにクロダイ切身の納品を継続するとともに、食材供給単価の削減に取組んだ。

### 取組による成果

- ・ 機器導入により作業効率化に成功。特にハモは骨切り工程も可能になったことで、販売数量が増加。
- ・ 学校給食への納入数増加。また、クロダイ以外のマダコやヒラメ等の取扱い魚種も拡大。
- ・ 新規取扱い魚種及び加工商品のバリエーションが増加。
- ・ 県内外の量販店・卸売会社等向け加工品の評価が高く、今後継続的な取引として期待。

### プロジェクトフロー



クロダイドレス



クロダイフィレ



フィレマシン



(平成31年3月現在)